

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		YUME School 川崎ラチッタテッラ校					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		・活動内容に応じて実施場所を工夫しています。	・個別対応の生徒の利用が重なってしまったり、活動を分けなくてはならない際の事前把握や環境配置を、より職員間で共有、準備徹底していけると尚良いと思っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1			・個別対応の生徒や意識して関わりを持つ生徒の利用予定の把握に伴って、職員配置も手厚くマネジメントして参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2			・商業施設内にあるため、改善に仕切れない部分があります。 ・教室内においてはパーティションや個室などを利用し、環境設定を整えていきます。 ・危険箇所のチェックとカバーの設置等を進めた ・職員の余裕のあるなしに関わらず、常日頃実行してまいります。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		・職員間で共有の会議を定期的に行なっています。	
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4			・よりアプローチしてくれるご家庭の意見は把握対応できますが、そうではないご家庭の意見を汲み取っていく方法、実行を定期的な面談で円滑に行なって参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	3	2			・わかりやすいホームページへと変更する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	1	・同法人の他事業者職員とも連携して、意見交換が行っていると感じます。 ・外部の専門職の方とも連携し、運営や支援の指導を受けております。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		・実施しているが、時間の確保が難しく十分ではないと感じております。 ・同法人内の事業者と連携して、ケーススタディや講師のアドバイスをいただき、研修しています。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		・職員で話し合いの場を設定しています。	・半期に一度の個別支援計画更新の際の面談と、同法人のフリースクールに属している生徒は、更により密に連絡をとってニーズを汲み取っております。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	1	1		・利用生徒の気持ちの波が大きいので、その都度その時の様子や課題に合わせて過ごしています。また、同法人のフリースクールと連携して活動環境を提供して支援しております。 ・休日、長期休暇向けに設定していきます。
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		・利用予定が読めない課題があり、その都度臨機応変な対応、職員間での共有が求められているのが現状です。	・標準化しきれていないため、改良しています。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		・周辺施設を積極的に活用して、多様な活動をするようにしています。	・生徒の様子によって、予定通りにいかないことが多いので、職員の臨機応変な活動コンテンツの引き出し、対応によって過ごすことが多くなっているため、事前の生徒のニーズ汲み取りや活動準備の意識を高めていきたいです。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2		・生徒の自主性、主体性を大事にしつつ、変化を加えながら意欲的に継続している活動は無理に変更せず取り組んでいます。	
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1			・今後個別へのアプローチを強化していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2			・全員で共有しきれていないため、全員揃うよう努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		・なるべく密に打ち合わせできるように意識しています。	
17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		・システムを使用しながら、日々の支援の記録を残し、職員間で共有できるようにしています。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1			
	19	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	1	・相談支援事業所を利用していない生徒がほとんどですが、利用している生徒の相談支援事業所とは連携がとれております。	・子どもの担当者がいけるよう、調整していきます。
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	2	2	2	・現時点で受け入れないため評価できません。 ・医療的ケアが必要な生徒はならず、服薬の有無等は家庭と連携して把握しています。	
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		・保護者との連携はLINEなど、保護者が馴染みのあるツールを利用して行なっています。 ・学校には行かず、同法人のフリースクールを利用している生徒がほとんどなので、日中活動している環境との連携は、より密にとれています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・接続時には連絡を取り合うケースもあるが、全てではありません。 ・必要に応じて、生徒が利用している他事業所と情報共有や連携を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4			・まだその実例がありませんが、今後そのようなことがあれば連携、情報共有して参ります。
	25	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	1		・連携の薄い機関ではあるので、今後支援や課題が見つかった際のサポートをいただく機関として把握しておきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		・積極的に外部連携をしています。 ・同法人内のフリースクールや同商業施設内の通信制高校との交流や、地域の商業施設のイベントに参加して地域交流ができております。	
	27	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	2	・同法人のイベントを通じて、自立訓練や就労移行の事業所と定期的に連携を図っています。	・積極的に参加ができるよう、職員間でスケジュール調整を行っています。 ・職員の手不足で参加が難しいこともありますが、情報の把握、参加の意識をもって実行して参ります。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		・送迎時など直接話せる場では、小さなことも共有していくようにしています。 ・公式ラインを使用して、常日頃密に連絡を取ることができています。	
	29	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・保護者との面談も設けているが、トレーニングとしての提供はできています。	・また相談を受けた際に、必要に応じて対応しております。
保護者への説明等	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		・契約時にて、書面を通じて説明をしています。	
	31	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1			・また相談を受けた際に、必要に応じて対応しております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	1		・送り迎えの際に会えた保護者同士は、つながるよう意識しておりますが、正式な活動は行えていないので、保護者会のニーズも把握して対応していけたらと思います。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・同法人のフリースクールや通信制高校の利用生徒が多いので、職員全体で生徒についての把握を常に行えており、保護者や生徒対応ができております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		・毎月の活動報告作成や公式LINEでの状況、同法人のフリースクールからの情報提供で発信しています。	
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1			
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		・毎年、イベントとして文化祭のようなフェスティバルをフリースクール、通信制高校、地域の事業所と連携して実行しています。	

非常時等の対応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		・保護者周知までは行き届いていないので、共有方法やマニュアルの確立を徹底して参ります。
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		・商業施設内の為、防災の管轄が商業施設管理で、そちらの訓練を受けております。 ・今後は、事業所単位でも消防と連携を検討して訓練実行を行っていきます。
	39	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・今のところ必須対応の生徒がいない為、本人が理解していたり保護者との共有のみとなっております。 ・今後は、構造化してわかりやすい把握ができるよう工夫していきます。
	40	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2		・毎月の会議の際に虐待防止についての打ち合わせ、対応をしております。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		・契約面談時に保護者へ共有しております。